

令和6年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・1年間を通して、テーマを意識しながら作品製作をすることができた。
- ・友達の作品から、よさや工夫したところを見付け、伝え合うことができた。

(2) 課題

- ・作品製作の際、集中が長く続かない。
- ・活動に対して意欲的に取り組み始めるが、より良くしようと工夫する意欲が低い。
- ・一度学習した道具の使い方、技法などまだ十分に身に付いていないことがある。

2 授業の分析

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・クレパスやチョーク、絵の具、混ぜた液体粘土など、描画材の特徴に合わせて使い分けることができた。 ・のりを適量につけたり、材料に応じて接着剤を使い分けたりと、材料を選択することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマから表現したい世界を想像し、表したいことを表現することができた。 ・自分で新しいことや好きな物等を想像することが、課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現することに自信が無い児童が数名いた。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりを使用する際、抑える力が弱く、上手く切ることができない児童がいた。 ・のりを適量につけたり、材料に応じて接着剤を使い分けたりと、材料を選択することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉から形や色をイメージし、絵に表すことが難しい。 ・鑑賞の際、友達の作品からよさを感じ取り、感じたことを発表したり、友達に伝えたりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作や片付けの合間に集中力が切れてしまう児童がいた。 ・完成までの見通しをもっておらず、時間内に作品が完成できない児童が数名いた。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・墨や針金の特徴を理解し、細かなものも丁寧に表現することができた。 ・彫刻刀やグルーガンを安全に使うことに課題がある。 ・コマ撮りアニメーションの仕組みを理解できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の表したいことに合わせて材料や表現方法を工夫することができた。 ・自分の中の作りたいイメージはあるが、思い通りに表現することが難しい児童が数名いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と話し合いながら、主体的に図工の造形活動に取り組むことができた。 ・活動は意欲的に取り組んでいるが、集中して作業に取り組めない児童もいる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・手や体全体の感覚を働かせながら、活動ができる題材を多く取り入れる。 ・のりの種類や接着効果の違いを繰り返し説明し、分量の調節を自然と身に付けることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなものや、気持ち、考えていることを教師が聞き出し、一度言葉に出させることでイメージできるようにする。 ・想像を広げるための、考える時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や活動を積極的に褒め、表現活動を楽しめるように声掛けをし、自信につなげる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりを使用する際はペアで、1人は抑える係とする、クランプを使うなど、安全に活動ができるよう場の設定を工夫する。 ・のりの種類や接着効果の違いを繰り返し説明し、分量の調節を自然と身に付けることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入で、テーマから想像したことを教師が聞き出し、黒板に書いて残しておくことで、絵に表しやすくする。 ・友達の作品から感じたことを発表する際、より具体的なポイントを説明することができるよう指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の合間で集中力が切れてしまう児童には、細かく注意をし、続きを行いたいと思わせる前向きな声掛けをする。 ・活動全体の時間や、本時ほどどこまで進めたらよいかなどの計画を黒板に残すことで、見通しを明確にする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・作りたいものに合わせて、道具や材料を選択し、どのようにつくるか工夫できるよう指導をする。 ・糸鋸を使う際の準備・使い方・片付けを学習し、一人で安全に刃の付け替えをすることができるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の表したい表現に合うように、材料をより多く用意し、自由に使うことができるよう児童へ周知をしていく。 ・作りたいものをイメージ通りに表現できない児童には、教師がアイディアスケッチを確認し、材料やポイントのアドバイスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品が完成した児童同士で「自分だったらもっとどこを工夫するか」を伝え合わせることで、意欲的に工夫をすることができるようにする。 ・導入や活動内容を工夫し題材への興味を高めるとともに、児童が集中して取り組める制作環境を整える。